



2026年5月14日

各位

上場会社名 天龍製鋸株式会社
代表者 代表取締役社長 大石 高彰
(コード番号 5945 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役 鈴木 達志
電話番号 0538-23-6111

中期経営計画（2024年度～2026年度）の数値目標の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年5月14日付にて公表いたしました2026年度を最終年度とする中期経営計画の目標につきまして、下記のとおり修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画（2024年度～2026年度）連結業績の実績及び目標の修正内容

	2024年度		2025年度		2026年度	
	目標	実績	目標	実績	前回発表目標	今回発表目標 (増減)
売上高（百万円）	13,000	13,131 (目標比101.0%)	13,800	13,475 (目標比97.6%)	14,000	14,000 (0)
営業利益（百万円）	1,630	1,826 (目標比112.1%)	1,830	1,735 (目標比94.8%)	2,100	1,820 (▲280)
営業利益率（%）	12.5	13.9 (目標比+1.4)	13.3	12.9 (目標比▲0.4)	15.0	13.0 (▲2.0)

2. 中期経営計画（2024年度～2026年度）資本効率指標の実績及び修正内容

	2024年度		2025年度		2026年度	
	目標	実績	目標	実績	前回発表目標	今回発表目標 (増減)
ROE（%）	3.8	4.2 (目標比+0.4)	4.1	4.0 (目標比▲0.1)	4.7	3.7 (▲1.0)
PBR（倍）	0.49	0.47 (目標比95.9%)	0.58	0.56 (目標比96.6%)	0.62	0.58 (▲0.04)

3. 目標の修正理由

本日公表した「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載のとおり、中期経営計画（2024年度～2026年度）の中間年度である2025年度の業績は、売上高、営業利益及び営業利益率のいずれも当初の目標を下回る結果となりました。2026年度につきましては、米国による関税措置の継続・拡大の可能性や、中東情勢の悪化に伴う地政学的リスクの高まりなどにより、事業環境の先行きは不透明な状況が続くと見込まれます。加えて、販管費の増加や原材料価格・物流コストの高騰、為替の影響等を考慮し目標を上記のとおり修正いたしました。

なお、ROE及びPBRにつきましても目標を修正しておりますが、今後も収益力の改善及び資本効率の向上に積極的に取り組み、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

※将来情報についての注意事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。なお、修正が必要な事象が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上